

事業シート(令和3年度決算)

事業名	62100 観光宣伝推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(3)	品質・価値の向上と情報発信	
			項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	1	観光振興費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2217							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・飛騨高山の観光宣伝を様々な手法や媒体を用いて行い、高山への来訪を促進する。	概要	・観光PR用のパンフレットやポスターなど宣伝ツールを作成する。 ・各種キャンペーンや物産展などへの出向による誘客宣伝活動を実施する。 ・関係自治体や民間事業者と連携したPR活動を展開する。 ・継続的なイベントや関係団体事業の支援(協賛広告)による誘客宣伝を実施する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	77.3%	61.3%	↗
高山市への再来訪の意向	97.9%	98.2%	98.0%
観光客入込者数(年間)	230.1万人	194.8万人	-
観光客入込者数(宿泊)(年間)	106.7万人	85.8万人	-
観光消費額(年間)	466億円	401億円	-

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		7,760	4,867	13,460	13,400	10,222	5,355
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(入湯税、広告事業雑入等)	7,409	4,867	12,478	12,478	6,583	1,716
一般財源		351	0	982	922	3,639	3,639
個票枝番	主な事業内容						
	観光パンフレット等の作成	3,500	3,267	9,500	9,440	8,699	5,432

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		14,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
12,780	11,960	11,960	△ 1,500	
11,553	11,222	11,222	△ 1,256	
1,227	738	738	△ 244	
査定額	説明			
8,500				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・新型コロナウイルスの影響により、物産展やエージェント訪問等、現地を訪れる観光宣伝事業は減少したが、観光客のニーズを捉えた新デザインのポスターの作成、またマイカー利用の観光客が増加傾向にあることから、高速道路SA等へのパンフレット配架等を強化した。	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
評価等	・新型コロナウイルスの影響により、令和2年1月～令和2年12月の観光客入込者数は市町村合併以降最低となる230万1千人に減少した。 ・感染状況が少し落ち着いた秋には、国が実施するGoToキャンペーン等の効果により一時的に入込は増加したが、再び感染状況が悪化した冬期には減少傾向となった。 ・新型コロナウイルスの影響により人の流れが止まることは不可避であり、その間にどう誘客宣伝を行っていくか、戦略的な宣伝活動を展開する必要がある。	
次年度以降の考え方(担当課)	・オンライン商談会等を積極的に活用し、より効果的な誘客宣伝を実施するとともに、情報収集を強化することで、今まで以上に状況に即した迅速な対応を図る。 ・ターゲットを絞った情報発信や新たな地域資源の掘り起こしなど、現状に即した柔軟かつ戦略的な誘客活動をすすめる。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた戦略的な誘客活動をすすめる。	

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・新型コロナウイルスの影響により、物産展やエージェント訪問等、現地を訪れる観光宣伝事業は減少したが、マイカー利用の観光客が増加傾向にあることから、高速道路SA等へのパンフレット配架等を強化した。 ・年度末には新型コロナウイルスの影響が減少し、徐々に入込が増加しつつあることから、次年度に向けて観光PR用パンフレット、ポスターなど情報発信ツールを作成した。	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	・新型コロナウイルスの影響により、令和3年1月～令和3年12月の観光客入込者数は市町村合併以降最低となる194万8千人に減少した。 ・10月には、県の施策や市の教育旅行の誘致推進の効果により一時的に入込は増加したが、年末にかけて変異株の感染状況が悪化し再度減少した。 ・観光客の多様化するニーズを把握し、ターゲットを絞った戦略的な宣伝活動を展開する必要がある。	
次年度以降の考え方(担当課)	・旅行者のニーズや観光動向を把握し、より効果的な誘客宣伝を実施する。 ・ターゲットを絞った情報発信や新たな客層の掘り起こしなど戦略的な誘客活動をすすめる。 ・新型コロナウイルス感染症の影響(回復後の動向を含め)を踏まえた戦略的な誘客活動をすすめる。	

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨高山の観光宣伝を様々な手法や媒体を用いて推進するための国内向け誘客宣伝、誘客対策に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	62110 高山祭事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画	
			目	1	観光振興費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2217							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 高山祭の認知度の向上と来訪者の増加を図る。 高山祭を安全に実施する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 祭協賛会組織への支援による官民一体となった誘客宣伝を実施する。 観光客の安全な誘導に必要な資材の調達や警備の実施など来訪者の受入体制を整備する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	77.3%	61.3%	↗
高山市への再来訪の意向	97.9%	98.2%	98.0%
観光客入込者数(年間)	230.1万人	194.8万人	-

2.事業の実施結果等(Do)

		R2			R3		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		6,620	1,400	6,720	6,720	3,156	1,756
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(寄附金)				1,065	1,065	1,065
一般財源		6,620	1,400	6,720	5,655	2,091	691
個票枝番	主な事業内容						
	高山祭協賛会に対する助成	2,000	1,400	2,000	2,000	1,600	200
	案内本部の運営	4,060	0	4,160	4,160	1,272	1,272
	交通量調査	560	0	560	560	284	284

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
7,049	6,670	6,670	△ 50
7,049	6,670	6,670	△ 50
査定額	説明		
2,000			
4,110			
560			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により、令和2年度の高山祭は春秋とも中止となった。 祭協賛会への支援を通じた官民一体となった取り組みについては歴史文化保存の観点から継続した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度においては新型コロナウイルスの影響により、神事を除くすべての行事が中止となったが、年間観光客入込数に大きく影響する重要なコンテンツであり、感染状況を鑑みつつ、事業継続を行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 今後しばらくは外国人観光客の需要が見込めないと想定されるが、ポストコロナを見据えた外国人観光客に対するコミュニケーションを行っていく。 状況に応じた安全、安心な事業展開と観光案内を実施する。 ユネスコ無形文化遺産登録や日本遺産認定を契機とした、文化の伝承を意識した誘客活動をすすめる。 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた戦略的な誘客活動をすすめる。

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は新型コロナウイルスの影響により、春は縮小開催となり、感染対策を踏まえながら祭会場内に案内本部を設置し、観光客等が安全に安心して観光できる環境を提供した。なお、秋は感染状況を踏まえ中止となった。 祭協賛会への支援を通じた官民一体となった取り組みについては歴史文化保存の観点から継続した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度においては新型コロナウイルスの影響により、縮小開催や中止となったが、年間観光客入込数に大きく影響する重要なコンテンツであり、感染状況を鑑みつつ、事業継続を行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 長期化する新型コロナウイルスの状況を踏まえ、神社や屋台組等の意向にあわせて感染対策を行いながら祭の斎行を支援し、観光客を安全に受け入れられるよう努める。 今後しばらくは外国人観光客の需要が見込めないと想定されるが、ポストコロナを見据えた外国人観光客に対するプロモーションを行っていく。 ユネスコ無形文化遺産登録や日本遺産認定を契機とした文化の伝承を意識しつつ、ポストコロナを見据えた誘客活動を推進する。

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 安心して高山祭が見学できる観光客等の案内及び安全確保に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
-------------------	---

市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに
--------------	--

事業シート(令和3年度決算)

事業名	62120 観光誘客推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・女性グループ、親子連れ、シニアグループなどを始めとした様々な国内外観光客層に、それぞれに適した活動プラン(体験プラン)の提供やおもてなしの充実を図り、個人観光客の増加に努めます。	
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(3)	品質・価値の向上と情報発信			
			項	2	観光費		根拠計画					産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
			目	1	観光振興費							
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2217									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山訪問の動機づけや周遊型・滞在型観光の魅力の向上を図り、多くの観光客や教育旅行を誘致する。	概要	・飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など民間団体と連携した誘客活動を展開する。 ・飛騨高山観光誘致推進協議会による官民一体となった誘客事業を実施する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	77.3%	61.3%	↗
高山市への再来訪の意向	97.9%	98.2%	98.0%
観光客入込者数(年間)	230.1万人	194.8万人	-
観光客入込者数(宿泊)(年間)	106.7万人	85.8万人	-
観光消費額(年間)	466億円	401億円	-

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		16,000	14,915	15,000	15,000	15,000	85
特定財源	国費()						
	県費(岐阜県清流の国ぎふ推進補助金)						
	その他(入湯税)	16,000	14,915	15,000	15,000	15,000	85
一般財源			0	0	0	0	0
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨高山観光誘致推進協議会負担金	16,000	14,915	15,000	15,000	15,000	85
	高山祭屋台の特別曳き揃え実行委員会負担金						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算		実施計画額		16,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)			
14,000	14,000	14,000	△ 1,000			
14,000	14,000	14,000	△ 1,000			
0	0	0				
査定額	説明					
14,000						

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など民間団体と連携した様々な誘客活動を実施した。 ＜主な取り組み＞ ・テレビ、ラジオ、インターネット、雑誌、物産展等を活用した誘客宣伝 ・交通事業者と連携した誘客宣伝 ・岐阜県や関係団体等と連携した観光キャンペーン ・教育旅行に特化したプログラム冊子の作成、ホームページ等による情報発信 ・飛騨高山観光ゼミの共催 ・関西圏をターゲットとした広告出稿、SNSを活用した情報発信 ・JR高山本線運転再開感謝イベントの実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、首都圏をはじめとする都市部などでのキャンペーン活動が制限される中、官民一体となって様々な媒体を活用した情報発信等により、例年と比べれば減少したものの、観光客入込者数が230万人となった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・官民一体となった誘客事業を継続する。 ・支所地域の観光関係団体との連携を強化し、新たな観光資源の発掘を推進する。 ・コロナ禍における旅行者のニーズや観光動向を把握し、戦略的且つ効果的な誘客活動を実施する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など民間団体と連携した様々な誘客活動を実施した。 ＜主な取り組み＞ ・テレビ、ラジオ、インターネット、雑誌、物産展等を活用した誘客宣伝 ・交通事業者と連携した誘客宣伝 ・教育旅行に特化したプログラム冊子の作成、ホームページ等による情報発信 ・飛騨高山観光ゼミの共催 ・関西圏をターゲットとした広告出稿、SNSを活用した情報発信 ・NHK番組公開収録「あにげっちゅ」の実施 ・アニメツーリズムの推進(おジャ魔女どれみ、両面宿禰を活用したプロモーション) ・空港と連携したプロモーション事業の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、首都圏をはじめとする都市部などでのキャンペーン活動が制限される中、官民一体となって様々な媒体を活用した情報発信や話題のコンテンツ(両面宿禰)を活用したプロモーションを実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・官民一体となった誘客事業を継続する。 ・支所地域の観光関係団体との連携を強化し、新たな観光資源の発掘を推進する。 ・コロナ禍における旅行者のニーズや観光動向を把握し、戦略的且つ効果的な誘客活動を実施する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・民間団体と連携した誘客活動を展開するために必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	62140 観光協会等助成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・支所地域の資源や魅力を活用し、高山駅周辺などの中心市街地と支所地域が結ばれた市内観光ネットワークの構築に努めます。また、中部圏の広域観光ネットワークを拡充し、高山市が中部圏の広域観光拠点となるような機能整備に努めます。
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画		
			目	1	観光振興費						
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2217								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・様々なツールを活用して飛騨高山を広く国内外にPRし、観光業の振興及び年間を通じた観光客の誘致促進を図る。	概要	・観光関連団体や観光関連事業主催者の取り組みを支援する。
----	---	----	------------------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	77.3%	61.3%	↗
高山市への再来訪の意向	97.9%	98.2%	98.0%
観光客入込者数(年間)	230.1万人	194.8万人	-
観光客入込者数(宿泊)(年間)	106.7万人	85.8万人	-
観光消費額(年間)	466億円	401億円	-

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		170,280	156,936	171,063	171,063	131,244	△ 25,692
特定財源	国費()						
	県費(観光回廊づくり推進事業費)						
	その他(入湯税等)	158,217	89,063	137,706	140,074	104,868	15,805
一般財源		12,063	67,873	33,357	30,989	26,376	△ 41,497
個票枝番	主な事業内容						
	観光協会の運営に対する助成	16,000	14,961	16,000	16,000	14,743	△ 218
	観光客誘致推進に対する助成	112,000	103,524	100,000	100,000	100,000	△ 3,524
	コンベンション誘致に対する助成	6,063	6,063	6,063	6,063	6,063	0
	コンベンション開催に対する助成	18,000	25,490	18,000	18,000	1,744	△ 23,746
	観光イベント開催に対する助成	18,217	6,898	31,000	31,000	8,694	1,796

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算	実施計画額	170,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
165,563	165,563	164,563	△ 6,500	
3,000	3,000	3,000	3,000	
136,206	114,157	145,126	7,420	
26,357	48,406	16,437	△ 16,920	
査定額	説明			
14,500				
100,000	メディア事業、WEB事業、広告宣伝事業			
6,063	2市1村で負担			
14,000				
30,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会運営費補助金 市内10観光協会に対する補助金 イベント開催支援補助金 市内観光協会や実行委員会に対する補助金 観光客誘致推進事業補助金 観光連絡協議会に対する補助金 飛騨・高山コンベンションビューロー補助金 (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会のコンベンション誘致事業に対する助成 コンベンション開催支援補助金 コンベンション開催数:8件、参加者数:1,255人 コンベンション開催支援事業(教育旅行支援制度) 学校数:213校、利用者数:20,191人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により、観光客入込数は激減したが、コロナ禍における対策を施したイベントや、コロナに左右されにくい客層(教育旅行等)をターゲットとした事業展開など、今後の誘客活動の一つの方向性を確認することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き民間団体の取り組みを支援するとともに、コロナ禍においてより効果のある事業展開の提案も行い、官民一体となってこれからのポストコロナ社会における観光客の誘致活動を積極的に行っていく。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会運営費補助金 市内10観光協会に対する補助金 イベント開催支援補助金 市内観光協会や実行委員会に対する補助金 観光客誘致推進事業補助金 観光連絡協議会に対する補助金 飛騨・高山コンベンションビューロー補助金 (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会のコンベンション誘致事業に対する助成 コンベンション開催支援補助金 コンベンション開催数:12件、参加者数:2,207人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により開催できないイベントもあったが、内容を見直してイベントを計画し実施することができた。その経験を踏まえ、コロナ禍においてどういった対策をしつつ実施すればよいのか、またアフターコロナに向けての方向性が確認できた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みつつ、従来できていたイベントをそのまま実施するのではなく、これまでの経験値を活かし、状況に応じた対策等を踏まえながら実施する事業に対して支援をするなど、官民一体となって観光客の誘致活動を積極的に行っていく。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・観光関連団体や観光関連事業への支援に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・コンベンション開催に対する助成について一部所管替による変更
--------------	--------------------------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	62150 観光振興事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・飛騨山脈を活用した国際山岳観光の振興に努めます。また、温泉ガストロミーツーリズム(温泉地内を歩き巡って、地元食材を食べて、温泉を楽しむツアー)やクアオルトウォーキング(自然・気候・地形を活用した健康療法)などによる誘客に努めます。
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	2	観光費	根拠計画		産業振興計画			
			目	1	観光振興費						
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課・海外戦略課	内線	2217								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・戦略的な観光施策を展開し、観光振興によるにぎわいの創出を図る。	概要	・情報通信技術を活用した積極的な観光情報の発信を行う。 ・ユニバーサルデザインに基づく観光案内の整備を行う。 ・各種協議会などを活用した広域的な観光客誘致促進事業を展開する。 ・観光統計や交通量調査等による観光関連データを収集する。
----	----------------------------------	----	---

総会計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	77.3%	61.3%	↗
高山市への再来訪の意向	97.9%	98.2%	98.0%
観光客入込者数(年間)	230.1万人	194.8万人	-
観光客入込者数(宿泊)(年間)	106.7万人	85.8万人	-
観光消費額(年間)	466億円	401億円	-

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		275,433	261,169	21,146	99,206	44,866	△ 216,303
特定財源	国費(市内宿泊施設利用促進事業費、教育旅行促進事業費)	40,000	40,000		1,042	1,042	△ 38,958
	県費(乗鞍エンジョイプロジェクト推進事業費)					170	170
	その他(寄附金、夢・まちづくり基金繰入金等)	27,383	5,650		43,654	43,654	38,004
一般財源		208,050	215,519	21,146	54,510	0	△ 215,519
個票枝番	主な事業内容						
	各種協議会負担金	14,452	13,668	11,552	11,552	10,729	△ 2,939
	芸妓育成に対する助成	1,500	863	1,500	1,500	1,134	271
	地域資源を活用した誘致	1,624	24	1,124	1,124	176	152
	サイクルツーリズム推進に対する助成						
	新型コロナウイルス感染症に対する経済対策補助事業	251,007	241,938		78,000	27,158	△ 214,780
◎ 1	乗鞍スカイライン復旧記念イベントに対する助成			1,000	1,000	344	344
	新型コロナウイルス感染症経済対策事業に対する助成						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算		実施計画額		23,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)			
90,962	19,029	21,029	△ 117			
90,962	19,029	21,029	△ 117			
査定額		説明				
11,005						
	1,500					
	624					
	0					
0						

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設の入場者数や市内宿泊者数のデータ収集、交通量の調査、観光客へのアンケートなどにより、毎月の観光動向を把握するとともに、観光動向調査を実施した。 各種協議会等に参画し、それぞれにおいてコロナ禍における誘客宣伝活動を実施した。 おもてなしの文化を振興するための、芸妓の育成を行う団体の取り組みを支援した。 ONSEN・ガストロミーツーリズム、乗鞍エンジョイプロジェクトに対する助成事業は、新型コロナウイルスの影響及び令和2年7月豪雨の影響により、それぞれ実施することができなかった。 新型コロナウイルスの影響に対する経済対策補助事業を以下の通り実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 温泉利用宿泊施設支援事業:24,244千円(交付件数 135件) 宿泊施設利用促進事業:44,082千円(利用者数 11,993人) 観光振興事業:15,865千円(交付件数 58件) 感染防止おもてなし支援事業:157,747千円(交付件数 985件)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 継続しておもてなし文化後継者育成を支援し、総合的に伝統芸能を習得させることができた。 各種協議会と連携した事業を行うだけでなく、それぞれにおいて保有する有益な情報を共有することができた。 観光統計を踏まえ、コロナ禍における観光客のニーズを把握し、より効果的な宣伝活動を展開する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 新たな地域資源の発掘、そして地域資源を活用した観光振興を推進する。 観光動向調査をはじめとする各種調査結果やその分析を継続しつつ、コロナ禍における戦略的観光施策を検討する。 市が負担する各種協議会等への負担金等について、参加の是非や必要性を含め見直しを行う。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設の入場者数や市内宿泊者数のデータ収集、交通量の調査、観光客へのアンケートなどにより、毎月の観光動向を把握するとともに、観光動向調査を実施した。 各種協議会等に参画し、それぞれにおいてコロナ禍における誘客宣伝活動を実施した。 おもてなしの文化を振興するための、芸妓の育成を行う団体の取り組みを支援した。 ONSEN・ガストロミーツーリズムに対する助成事業は、新型コロナウイルスの影響により実施することができなかった。 新型コロナウイルスの影響に対する経済対策補助事業を以下の通り実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 教育旅行促進事業(第1弾):13,814千円(113校 10,972人利用) 体験プログラム利用促進事業:12,270千円(3,201人利用) 教育旅行促進事業(第2弾):1,074千円(繰越事業)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 継続しておもてなし文化後継者育成を支援し、総合的に伝統芸能を習得させることができた。 各種協議会と連携した事業を行うだけでなく、コロナ禍においてそれぞれが保有する有益な情報を共有することができた。また、団体によっては負担金の見直しを図った。 観光統計を踏まえ、コロナ禍、そしてアフターコロナを見据えた観光客のニーズを把握し、より効果的な宣伝活動を展開する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 新たな地域資源の発掘、そして地域資源を活用した観光振興を推進する。 観光動向調査をはじめとする各種調査結果やその分析を継続しつつ、コロナ禍における戦略的観光施策を検討する。 市が負担する各種協議会等への負担金等について、参加の是非や必要性を含め見直しを行う。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 広域連携など観光客誘致に必要な経費を計上 観光統計や交通量調査など観光関連の情報の収集に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・法定外税調査に必要な経費を計上

主要事業個票(令和3年度決算)

事業名	62150 観光振興事業費	区分	<input type="checkbox"/> R3新規	<input type="checkbox"/> R4新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課
枝番・内容	1 乗鞍スカイライン復旧記念イベントに対する助成		<input checked="" type="checkbox"/> R3拡充	<input type="checkbox"/> R4拡充		款	6	商工費		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業		項	2	観光費	内線	2217	
			<input type="checkbox"/>		目	1	観光振興費	作成年月	R4.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・乗鞍岳へ観光客を誘致し地域の活性化を図る。	概要	・乗鞍エンジョイプロジェクト協議会が行うイベントへの補助金を令和3年度に限り増額する。
----	------------------------	----	---

【参考】R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R3当初予算(Action) R3.3時点 (千円)

予算額	当初	1,000
主な経費	乗鞍エンジョイプロジェクト協議会補助金	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R3決算(Do-Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	1,000
	繰越	0
	補正等	0
	最終	1,000
決算額		344
対前年度増減額(決算)		344

R4当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	
主な経費		
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<p>・令和2年7月豪雨災害により、乗鞍スカイラインの一部が崩落し通行止めとなったため、その復旧を記念したイベント等を実施</p> <p>(参考)通常事業分 乗鞍星空観察会の開催 新登山ルート(五ノ池周辺)調査の実施</p>
[スケジュール]	<p>・9月～10月 乗鞍星空観察会 など</p> <p>・復旧記念イベント</p>

事業実績、評価等	
[事業実績]	<p>・令和2年7月豪雨災害により、乗鞍スカイラインの一部が崩落し通行止めとなったため、その復旧を記念したイベント等を実施</p> <p>復旧開通式の開催 復旧記念事業(散策ツアーガイド、写真教室、登山教室等)の実施</p> <p>(参考)通常事業分 乗鞍星空観察会の開催 新登山ルート(五ノ池周辺)調査の実施</p>
[評価等]	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、当初想定通りの事業実施とはいかなかったが、乗鞍スカイライン復旧イベント等の開催により、乗鞍岳のPRのみならず、来高者の増加が図られた</p>
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業シート(令和3年度決算)

事業名	62200 観光施設運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	2	観光施設費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・観光施設を活用した観光振興を推進することで、にぎわいの創出を図る。	概要	・自然資源の活用施設や体験交流施設など観光施設を適切に管理運営する。
----	------------------------------------	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	77.3%	61.3%	↗
高山市への再来訪の意向	97.9%	98.2%	98.0%
観光客入込者数(年間)	230.1万人	194.8万人	-

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	396,124	368,432	218,010	359,073	305,891	△ 62,541	
特定財源							
国費()							
県費(新穂高温泉園地管理費等)	274	274	274	274	274	0	
その他(指定管理事業雑入(観光施設)等)	63,116	69,458	23,907	12,707	13,142	△ 56,316	
一般財源	332,734	298,700	193,829	346,092	292,475	△ 6,225	
個票枝番	主な事業内容						
	観光施設の管理運営	294,597	267,585	160,510	301,573	273,195	5,610
	施設整備	101,527	100,847	57,500	57,500	32,696	△ 68,151

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		200,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
286,500	194,380	194,380	△ 23,630	
274	274	274	0	
23,908	26,016	26,016	2,109	
262,318	168,090	168,090	△ 25,739	
査定額	説明			
156,680				
37,700				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設21施設(うち指定管理施設19施設)の管理運営 観光施設の維持修繕等(荘川の里旧木下家屋根葺替など)の実施 新型コロナウイルス感染症予防対策(施設内における手指消毒や換気の徹底及びパーテーションによる間隔の確保)の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等総合管理計画に基づき、施設の整理(野麦の里の廃止)を実施した。 指定管理者制度により、民間活力を活用した施設運営やサービスの向上が図られている。 施設の現状を踏まえつつ、老朽化した施設の計画的な修繕を実施した。 休止施設の活用策について検討が必要である。 新型コロナウイルス感染症の影響による人流の変化等により、利用者数が大幅に減少している。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に施設の修繕をすすめる。 休止施設の今後の活用策を検討する。 公共施設等総合管理計画の方針に基づいた対応を行う。 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、適正な施設の管理運営を行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設21施設(うち指定管理施設19施設)の管理運営 観光施設の維持修繕等(しぶきの湯遊湯館浄化槽設備更新など)の実施 新型コロナウイルス感染症予防対策(施設内における手指消毒や換気の徹底及びパーテーションによる間隔の確保)の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等総合管理計画に基づき、施設の整理(野麦峠の館の廃止)を実施した。 指定管理者制度により、民間活力を活用した施設運営やサービスの向上が図られている。 施設の現状を踏まえつつ、老朽化した施設の計画的な修繕を実施した。 休止施設の活用策について検討が必要である。 新型コロナウイルス感染症の影響による人流の変化等により、利用者数は概ね前年度と同程度となっている。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に施設の修繕をすすめる。 休止施設の今後の活用策を検討する。 公共施設等総合管理計画の方針に基づいた対応を行う。 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、適正な施設の管理運営を行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・観光施設の管理運営、施設整備に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	62205 飛騨民俗村再整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画	
			目	2	観光施設費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・松倉・民俗村エリアの賑わい創出と活性化を図るとともに、市街地観光における周遊性を高める	概要	・飛騨民俗村再整備構想に基づく飛騨民俗村及び周辺エリアの再整備
----	--	----	---------------------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
観光客入込者数(年間)	230.1万人	194.8万人	-
飛騨の里の入場者数(年間)	5.2万人	5.8万人	29.0万人

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	96,525	43,953	14,350	60,600	59,576	15,623	
特定財源	国費(景観改善推進事業費 1/3)	3,300	1,600	1,600	1,943	△ 1,357	
	県費(観光施設整備事業費 1/4)	5,000	2,039		5,770	3,731	
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金等)	35,000	38,452	4,000	4,000	△ 34,452	
一般財源	56,525	162	12,750	55,000	47,863	47,701	
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨民俗村再整備構想に基づく整備	96,525	43,953	14,350	60,600	59,576	15,623

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		43,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
55,400	35,000	37,000	22,650	
			△ 1,600	
6,500	6,500	6,500	6,500	
		21,000	21,000	
48,900	28,500	9,500	△ 3,250	
査定額	説明			
37,000	旧野首家住宅改修ほか			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・飛騨民俗村再整備構想に基づく施設の整備等(飛騨民俗村の駐車場便所整備など)を実施 ・令和2年度利用者数(平成31年度利用者数) 飛騨民俗村 52,081人(150,381人)
評価等	・飛騨地域の民俗文化や里の風景のなかで誰もが非日常を体験できるよう、施設等のバリアフリー化の推進を図った。 ・地域住民と指定管理者及び行政が連携し、飛騨民俗村再整備構想を推進するとともに、魅力ある施設として、更なる交流人口の増加を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・飛騨民俗村再整備構想の推進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・飛騨民俗村再整備構想に基づく施設の整備等(飛騨民俗村の旧富田家屋根葺替など)を実施 ・令和3年度利用者数 飛騨民俗村 57,696人
評価等	・飛騨地域の民俗文化や里の風景のなかで誰もが非日常を体験できるよう、施設等の改修・景観保全等の推進を図った。 ・地域住民と指定管理者及び行政が連携し、飛騨民俗村再整備構想を推進するとともに、魅力ある施設として、更なる交流人口の増加を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・飛騨民俗村再整備構想の推進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨民俗村再整備構想の推進に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・照明器具等交換工事に必要な経費を計上
--------------	---------------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	62210 スキー場運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費	根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	2	観光施設費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市営スキー場を活用した観光振興を推進することで、にぎわいの創出を図る。	概要	・モンデウス飛騨位山スノーパーク及び飛騨舟山スノーリゾートアルコピアの管理運営を行う。
----	--------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	77.3%	61.3%	↗
高山市への再来訪の意向	97.9%	98.2%	98.0%
観光客入込者数(年間)	230.1万人	194.8万人	-

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		96,619	92,680	61,210	98,550	79,905	△ 12,775
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(観光施設使用料等)	139	303	139	139	145	△ 158
一般財源		96,480	92,377	61,071	98,411	79,760	△ 12,617
個票枝番	主な事業内容						
	スキー場の管理運営(指定管理)	67,290	63,351	35,900	73,240	54,895	△ 8,456
	施設整備	28,479	28,479	24,300	24,300	24,003	△ 4,476

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算		実施計画額		46,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)			
79,050	64,750	64,750	3,540			
139	139	139	0			
78,911	64,611	64,611	3,540			
査定額	説明					
35,900						
28,000						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による市営スキー場2施設(モンデウス飛騨位山スノーパーク・飛騨舟山スノーリゾートアルコピア)の管理運営 利用者の安全を確保するためのリフト修繕の実施 新型コロナウイルス感染症予防対策(施設内における手指消毒や換気の徹底及びバーテーションによる間隔の確保)の実施 令和2年度利用者数 モンデウス飛騨位山スノーパーク 23,480人 飛騨舟山スノーリゾートアルコピア 16,347人 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の観光収入の柱として、関連する宿泊施設や飲食施設に経済効果を与えている。 重要な地域雇用の場であり、地域活性化施設としてのニーズが高い。 地域の学校のスキー研修等にも活用されるなど、冬季の市民スポーツ・レジャー施設となっている。 新型コロナウイルス感染症の影響による人流の変化等により、利用者数が減少しているものの、暖冬であった前年度の利用者数を上回っている。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等総合管理計画の施設のあり方や地域住民等の意見を踏まえ、市営スキー場の検討を行う。 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、適正な施設の管理運営を行う。 	

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による市営スキー場2施設(モンデウス飛騨位山スノーパーク・飛騨舟山スノーリゾートアルコピア)の管理運営 利用者の安全を確保するためのリフト修繕の実施 新型コロナウイルス感染症予防対策(施設内における手指消毒や換気の徹底及びバーテーションによる間隔の確保)の実施 令和3年度利用者数 モンデウス飛騨位山スノーパーク 29,814人 飛騨舟山スノーリゾートアルコピア 24,428人 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の観光収入の柱として、関連する宿泊施設や飲食施設に経済効果を与えている。 重要な地域雇用の場であり、地域活性化施設としてのニーズが高い。 地域の学校のスキー研修等にも活用されるなど、冬季の市民スポーツ・レジャー施設となっている。 例年に比べ降雪状況が良好であったことから、利用者数は若干の増加となっている。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等総合管理計画の施設のあり方や地域住民等の意見を踏まえ、市営スキー場のあり方に関する検討結果と方向性を示すとともに、地域や関係者と連携した取組みをすすめる。 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、適正な施設の管理運営を行う。 	

担当課 予算要求 ポイント	・スキー場の管理運営、施設整備に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	62220 観光案内所運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	2	観光費		根拠計画		産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	2	観光施設費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・観光客への適切な情報提供と案内を行うとともに、心のこもったおもてなしによる対応により、潜在の満足度を高める。	概要	・飛騨高山観光案内所及び新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所)の管理運営を行う。 ・まちかど観光案内所を設置し運営する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	77.3%	61.3%	↗
高山市への再来訪の意向	97.9%	98.2%	98.0%
観光客入込者数(年間)	230.1万人	194.8万人	-

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	22,123	20,673	20,930	21,027	20,650	△ 23	
特定財源							
国費()							
県費()							
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、観光施設使用料等)	18,427	469	400	400	520	51	
一般財源	3,696	20,204	20,530	20,627	20,130	△ 74	
個票枝番	主な事業内容						
	観光案内所の管理運営	18,793	17,866	17,600	17,697	17,368	△ 498
	まちかど観光案内所の管理運営	3,330	2,807	3,330	3,330	3,282	475

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		22,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
20,930	20,780	20,780	△ 150	
400	400	5,400	5,000	
20,530	20,380	15,380	△ 5,150	
査定額	説明			
17,460				
3,320				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による飛騨高山観光案内所の管理運営 古い町並エリア内まちかど観光案内所の設置・運営 直営による新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所)の管理運営 新型コロナウイルス感染症予防対策(施設内における手指消毒や換気の徹底及びパーテーションによる間隔の確保)の実施 令和2年度利用者数 飛騨高山観光案内所 40,117人 新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所) 5,927人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨高山観光案内所は、市の玄関口として観光客のニーズが高く、観光の起点としての役割を果たしている。 飛騨の家具やベレットストーブを導入し、高山市の産業や環境保全に関する取組みのPRとなっている。 新型コロナウイルス感染症の影響による人流の変化等により、利用者数が大幅に減少している。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の観光案内所との連携を図りながら、広域観光案内の実現を図る。 利用者のニーズを踏まえた観光案内を行うとともに、国内外を問わず、案内窓口の拠点として、利用者にも再訪を促すことのできるような施設運営を行う。 公共施設等総合管理計画の方針に基づいた対応を行う。 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、適正な施設の管理運営を行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による飛騨高山観光案内所の管理運営 古い町並エリア内まちかど観光案内所の設置・運営 直営による新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所)の管理運営 新型コロナウイルス感染症予防対策(施設内における手指消毒や換気の徹底及びパーテーションによる間隔の確保)の実施 令和3年度利用者数 飛騨高山観光案内所 43,581人 新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所) 5,076人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨高山観光案内所は、市の玄関口として観光客のニーズが高く、観光の起点としての役割を果たしている。 飛騨の家具やベレットストーブを導入し、高山市の産業や環境保全に関する取組みのPRとなっている。 新型コロナウイルス感染症の影響による人流の変化等により、利用者数は概ね前年度と同程度となっている。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の観光案内所との連携を図りながら、広域観光案内の実現を図る。 利用者のニーズを踏まえた観光案内を行うとともに、国内外を問わず、案内窓口の拠点として、利用者にも再訪を促すことのできるような施設運営を行う。 公共施設等総合管理計画の方針に基づいた対応を行う。 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、適正な施設の管理運営を行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・観光案内所の管理運営に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに